

発生日時	平成 21 年 5 月 19 日 (火)	11 時 30 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
				架空線損傷
事故概要	ラフタークレーンを用いて資材を運搬していたところ、上空の架空線(東電)にアームが近接し、放電が発生。周辺世帯(40,000件 10秒間)に停電が発生したものを。			

事故発生状況



・クレーンにて鋼材を移動させていた際、**上空の架空線に近接し、放電した**ため、周辺世帯で停電が発生。

・架空線直下にラインを引いたり、注意喚起旗を設置するなどしていた。

・**作業時、監視が不十分**だった。

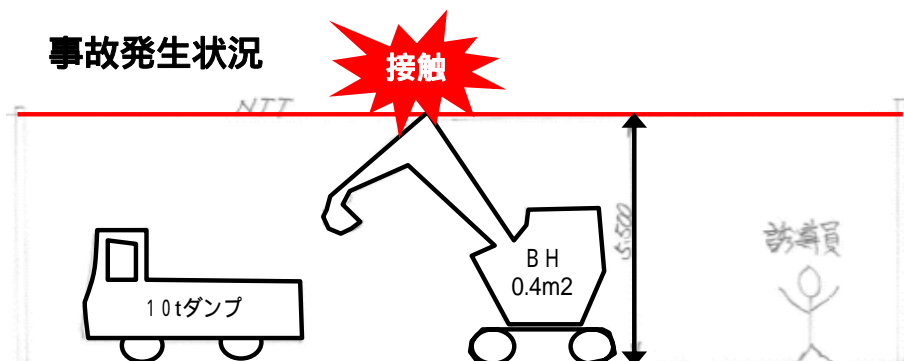
放電したため、クレーンの先端が焦げ付いた

【速報段階での事故発生原因(推察)】

・架空線に対する配慮不足によるもの。

発生日時	平成 21 年 5 月 22 日 (金)	15 時 50 分	天候	曇
工事情報	道路系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
				架空線 (NTT引き込み線) 切断
事故概要	建設予定地内の道路を撤去中、バックホウにて架空線 (NTT線) を切断。周辺世帯1件に影響あり。			

事故発生状況



・As舗装の撤去作業をしていた。

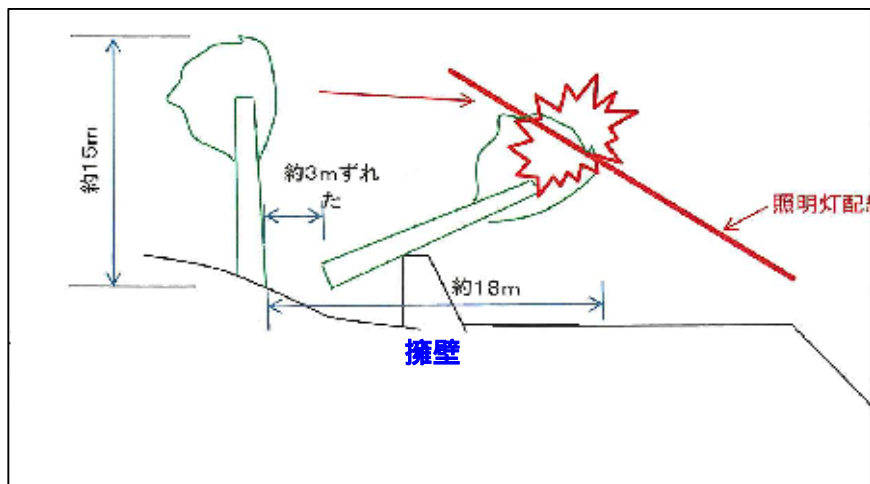
・As魂をダンプトラックに積み込む際、アームが上空の架空線に接触し、切断させたもの。

【速報段階での事故発生原因(推察)】

・架空線に対する注意喚起不足によるもの。

発生日時	平成 21 年 5 月 26 日 (火)	11 時 40 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 維持修繕工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
				道路照明灯の架空線切断
事故概要	法面の樹木伐採作業中、道路照明灯の架空線に接触し、切断させたもの。			

事故発生状況



・高所作業車にて、枝払いをしながら伐採を行っていた。

・高所作業車で届かない部分を残したまま幹を根元から切断した。

・その際、**道路脇の擁壁に接触**した後、道路照明灯の架空線に接触、切断したものの。

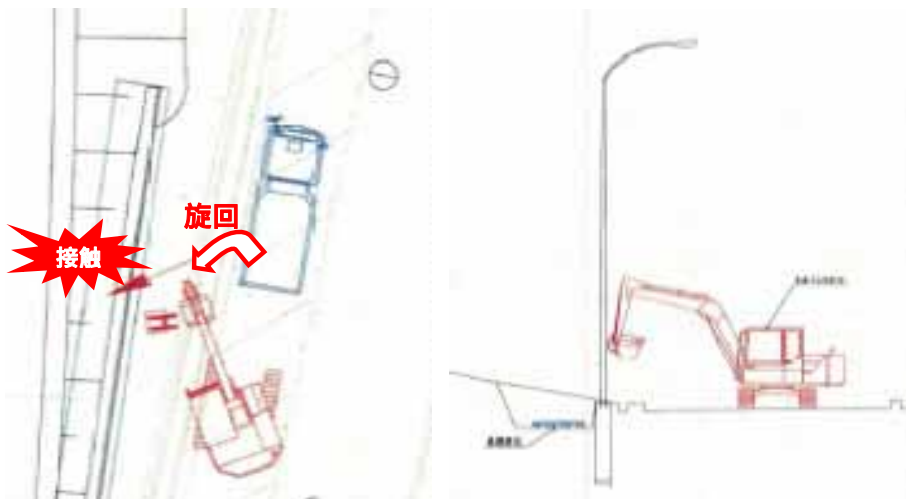


【速報段階での事故発生原因(推察)】

・架空線に対する注意喚起不足によるもの。

発生日時	平成 21 年 8 月 26 日 (水) 10 時 50 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木		
被災の状況	性別	年齢	職種
	-	-	-
事故概要	被災の程度		
	道路照明灯破損		
事故概要	トラックに積まれた砕石を運び出すため、バックホウを旋回したところ、道路照明灯にバケットが接触したものの。		

事故発生状況



・バックホウを用いて砕石をダンプから受け取り、現場に投入しようとした際、投入先にあった照明灯にバケットを接触させてしまった。

・接触した反動で、照明灯の灯部(照明器具)が落下し、破損した。

【事故発生原因】

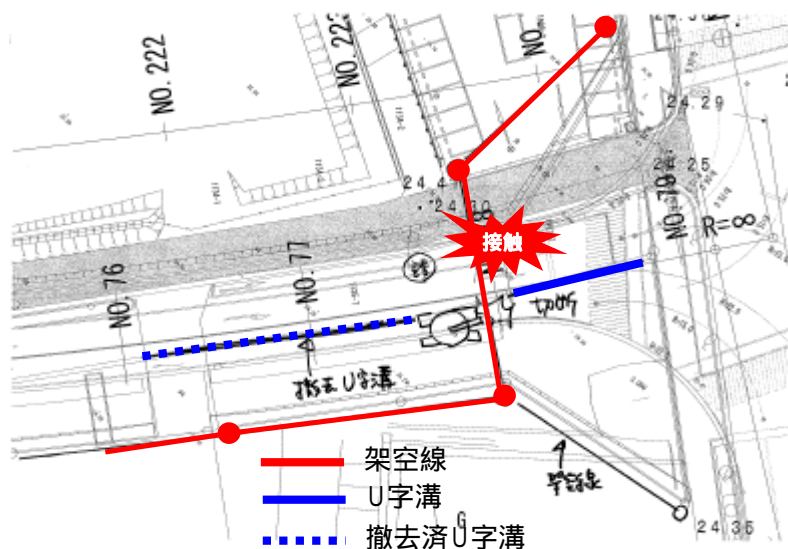
・周辺状況について確認不足。

【事故防止のポイント】

・作業前に周囲の安全確認を行う。
・重機の運転は誘導員の合図に従う。 など

発生日時	平成 21 年 9 月 10 日 (木) 15 時 00 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 As舗装工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	架空線(光ケーブル)切断	
事故概要	バックホウのバケットにU字溝を抱えて移動した際、上空の架空線(光ケーブル)にアームが接触し、切断させたもの。				

事故発生状況



- ・既設U字溝の撤去作業をバックホウ(0.4m³)にて行っていた。
- ・バックホウにて撤去した**U字溝を抱えて移動**した際、上空にある架空線にアームが接触し、切断したものの。
- ・近隣2店舗の**電話回線、ネット回線が一時不通**になった。

損傷状況写真



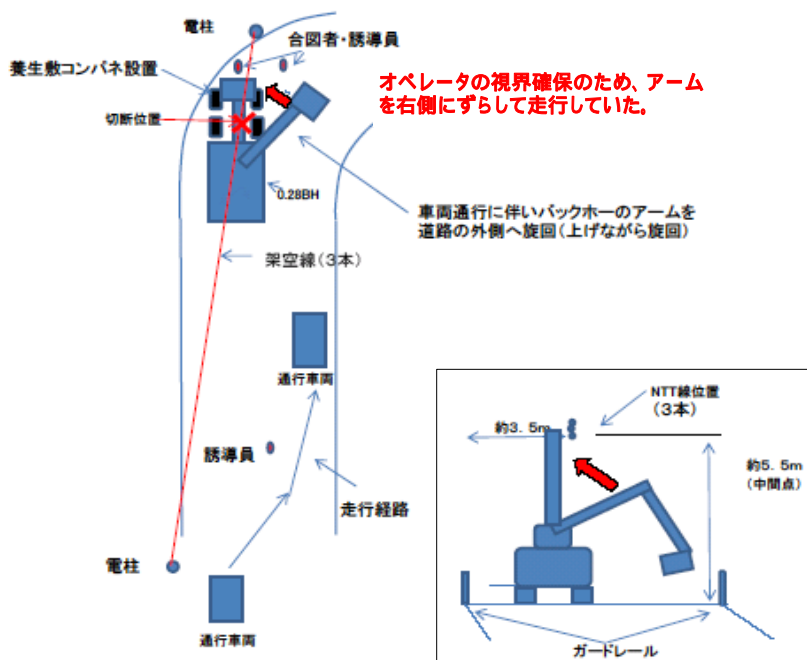
切断されたケーブル

【事故発生原因】
 ・バックホウの目的外使用によるもの。

【事故防止のポイント】
 ・作業手順の徹底
 ・架空線付近において誘導員
 ・荷積み作業における適切なバックホウの使用
 など

発生日時	平成 21 年 10 月 5 日 (月)	8 時 30 分	天候	曇
工事情報	河川系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	-	-	-	架空線 (通信線) 3 本切断
事故概要	一般道をバックホウで走行中、一般車を避けるためにアームを旋回したところ、上空の架空線に接触、切断させたもの。			

事故発生状況

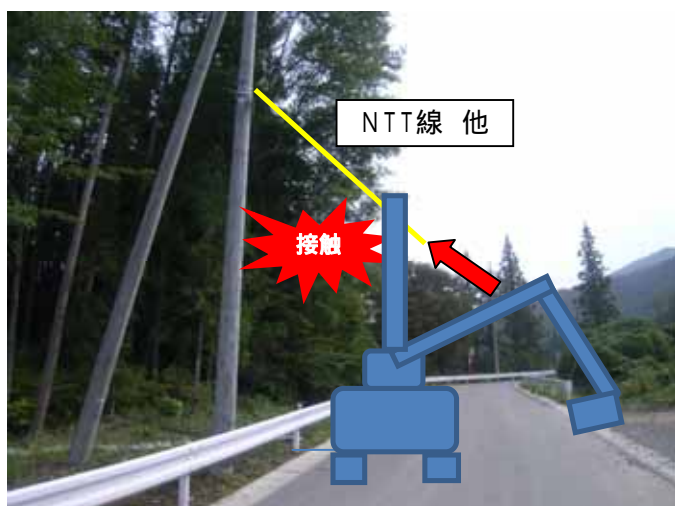


・事故前々日に元請け業者、下請け業者での打合せで「バックホウは回送」とする計画だった。

・事故直前に回送車の手配ミスがあったため、公道上をバックホウを自走させて現場に向かわせることにした。

・結果、公道上で一般車を避けるためにアームを旋回したところ、上空の架空線に接触し、切断させたもの。

損傷状況写真



【事故発生原因】

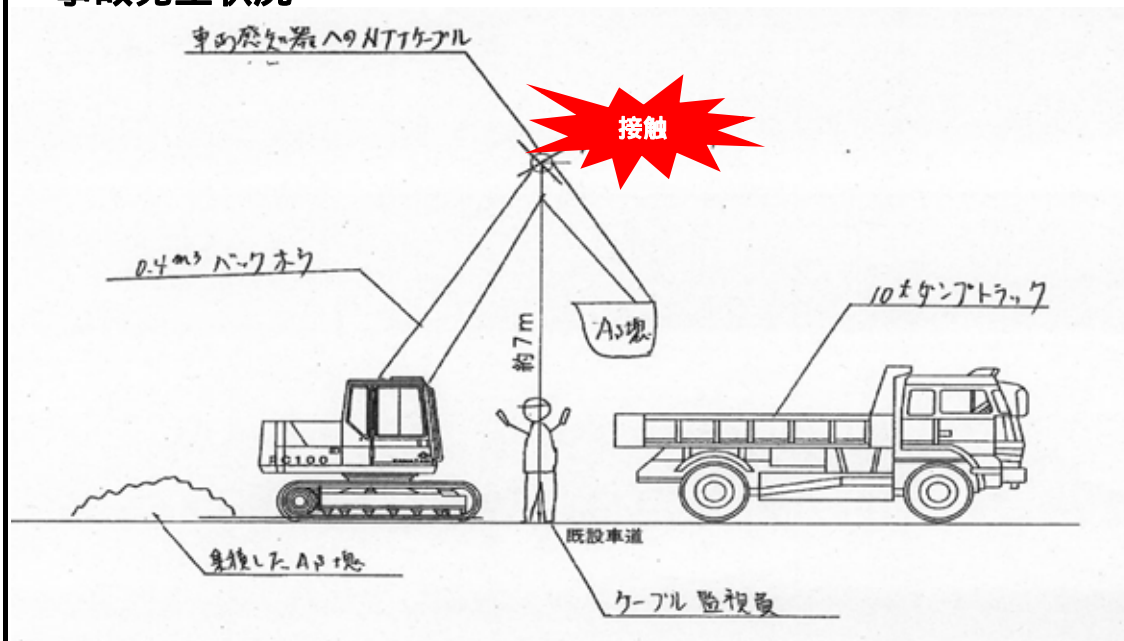
- ・公道上を無許可で重機走行させたこと。
- ・架空線に近接した場所で、不用意に重機を操作したこと。

【事故防止のポイント】

- ・重機の輸送手順を徹底すること (法令遵守)。
- ・安全教育等で架空線付近に関する重機作業についての周知徹底。(アームは下げて移動) など

発生日時	平成 21 年 11 月 7 日 (土) 16 時 05 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	県警車両感知器ケーブル切断	
事故概要	バックホウにて舗装版撤去・積込時、県警所有の車両感知器ケーブルにバックホウのアームが接触し、切断したもの。				

事故発生状況



切断したケーブル

・既存の舗装版を取り壊し、積み込み作業を行っていたところ、上空の架空線にアームが接触し切断させた。

・架空線対策としてのぼり旗、三角旗の掲示、専属の監視人を配置していた。

【事故発生原因】

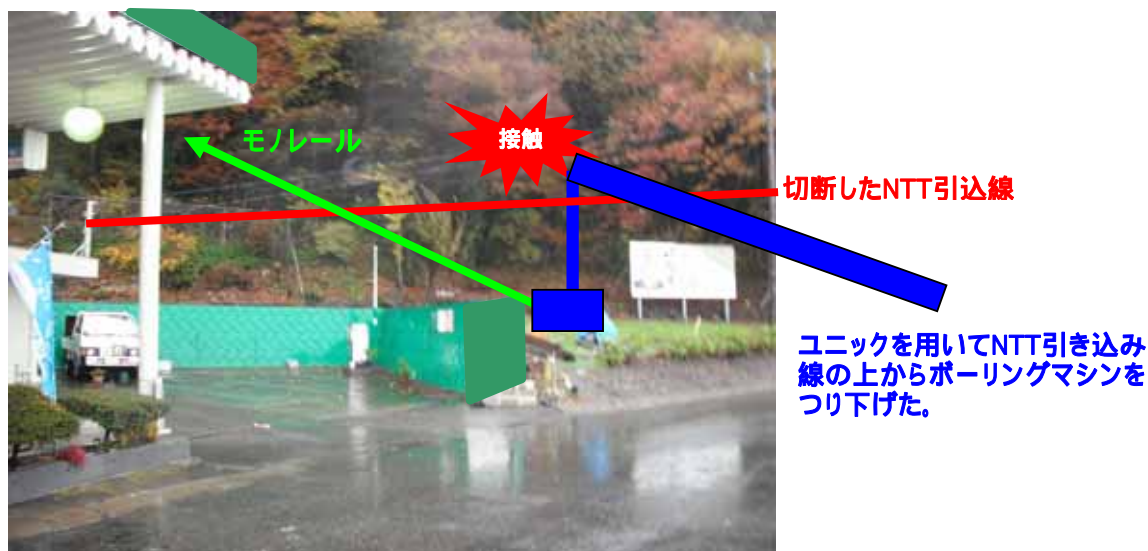
・オペレータに対して、架空線付近での作業方法の指導・徹底が不十分だったこと。

【事故防止のポイント】

・重機回転時、移動時には周囲の状況を目視で確認する。
・架空線近接作業時の安全管理を周知徹底。 など

発生日時	平成 21 年 11 月 11 日 (水) 9 時 45 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 業務				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	架空線(NTT引込線)損傷 約2時間断線	
事故概要	ボーリング調査で使用するマシンをユニックにて降ろそうとした際、上空の架空線にアームが接触し、				

事故発生状況(断面図)



- ・ボーリングマシンをユニック車にて搬入し、事前に設置したモノレールにて現地に運ぶ予定だった。
- ・ユニック車からボーリングマシンを降ろす際、伸ばしたアームの直上に架空線があり、所定の位置に搬入することが出来なかった。(当初はNTT引き込み線の下を通す予定だった。)
- ・その場で架空線を跨ぐ方法に変更し、ボーリングマシンを搬入することに作業を変更した。
- ・その後、搬入作業は完了したが、ブームの収納を行った際、ブームの下方が架空線に接触し、切断してしまった。

【事故発生原因】

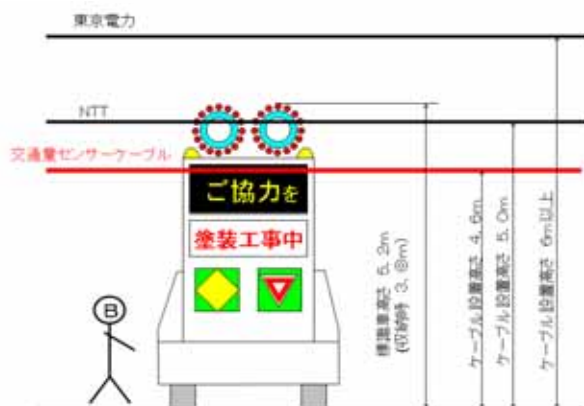
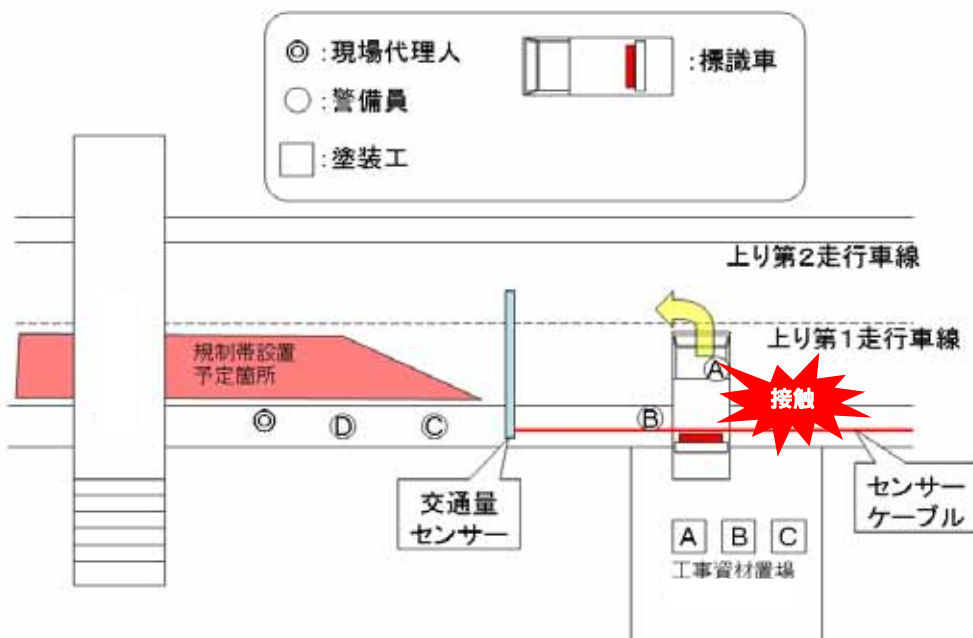
・架空線近接箇所で作業する際の安全対策が行われて無かったこと。

【事故防止のポイント】

・架空線が近接する箇所での作業時には事前に作業方法等を協議し、作業員に対して、周知徹底を行う。 など

発生日時	平成 21 年 11 月 14 日 (土) 21 時 00 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 塗装工事		
被災の状況	性別	年齢	職種
	-	-	-
被災の程度	被災の程度 交通量測定用センサーケーブル切断		
事故概要	規制車を現場直近の資材置き場から出す際に、昇降式標識を上げたまま走行したため、上空の架空線に接触し、切断したものの。		

事故発生状況



・規制車運転手Aは資材置き場から国道に出る際、誘導員Bの指示により昇降看板を上げて出たため、架空線に接触し、切断。

【事故発生原因】
 ・誘導員が独断で作業手順と異なる指示をしてしまったこと。
 (本来、走行中は看板を下ろす。)
 ・作業現場では架空線に対する安全対策を行っていたが、資材置場での安全対策が不十分だったこと。



【事故防止のポイント】
 ・資材置場も含め、架空線が近接する箇所においては、作業方法等を協議し、作業員に周知徹底を行う。 など

発生日時	平成 21 年 11 月 21 日 (土) 16 時 40 分	天候	曇
工事情報	道路系事務所 一般土木工事		
被災の状況	性別	年齢	職種
	-	-	-
事故概要	被災の程度		
	架空線切断(警察のナンバー読取システム)		
事故概要	バックホウのアームを上げたまま走行したため、上空の架空線(警察Nシステム)に接触し切断した。		

事故発生状況



・仮置していた土砂を場外搬出するためダンプに積み込んでいた。
 ・作業が終わり、次の場所に移ろうとした際、**バックホウのアームを上げたまま走行**し、上空の架空線に接触、切断した。(作業後の移動時のため、オペレータ1人で作業していた。)

【事故発生原因】

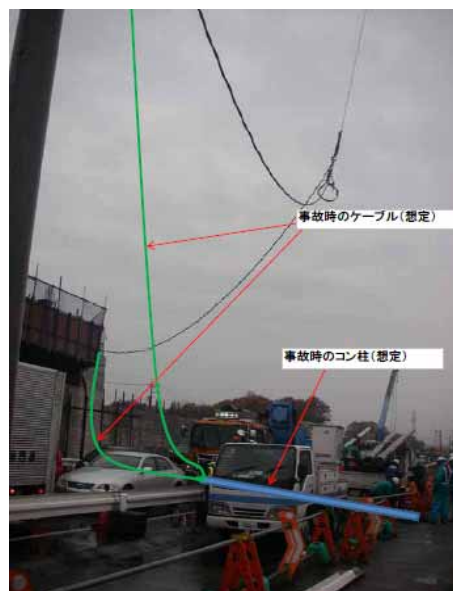
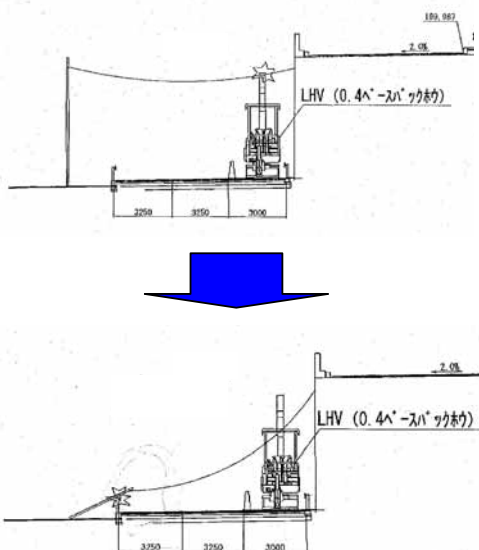
・バックホウのアームを上げたまま走行していること。

【事故防止のポイント】

・「走行時バックホウのアームを下げる」の周知・徹底。
 ・重機旋回時、移動時には周囲の状況を目視で確認する。 など

発生日時	平成 21 年 11 月 25 日 (水) 4 時 30 分			天候	雨
工事情報	道路系事務所 鋼橋上部工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	信号ケーブル電柱の折損	
事故概要	鋼矢板引き抜き作業が終了し、建設機械(LHV)を移動させていたところ、上空の架空線(信号ケーブル)に機械アームが接触し、電柱を倒してしまったもの。				

事故発生状況



- ・当日の夜間作業が終了し、片づけ作業に入るところだった。
- ・現場内を建設機械の**アームを上げたまま移動**したため、上空の架空線(約7m)に接触。
- ・接触した反動で電柱が引っ張られ、根元から折れたもの。

【事故発生原因】

- ・現場内で架空線に対する注意喚起がなされていなかったこと。
- ・バックホウ(LHV)の**アームを上げたまま移動**したこと。

【事故防止のポイント】

- ・**「走行時バックホウのアームを下げる」**の周知・徹底。
- ・**三角旗・のぼり旗等で架空線の存在を明示する。** など

発生日時	平成 21 年 11 月 25 日 (水) 10 時 40 分			天候	晴
工事情報	河川系事務所 維持修繕工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	電力線の切断及び街路灯破損	
事故概要	ミニバックホウを積載したトラックが坂路から河川内に進入する際、入口部の上空に通っていた架空線に接触し、電力線を切断、街路灯を破損させたもの。				

事故発生状況



- ・当日は、堤防天端に車止めを設置するため、トラックにミニバックホウを積載し現場に持ち込むところだった。
- ・河川内に進入する際、入口部上空に通っていた架空線に気が付かず、積載していたミニバックホウ上部が架空線に接触し、切断させた。

【事故発生原因】

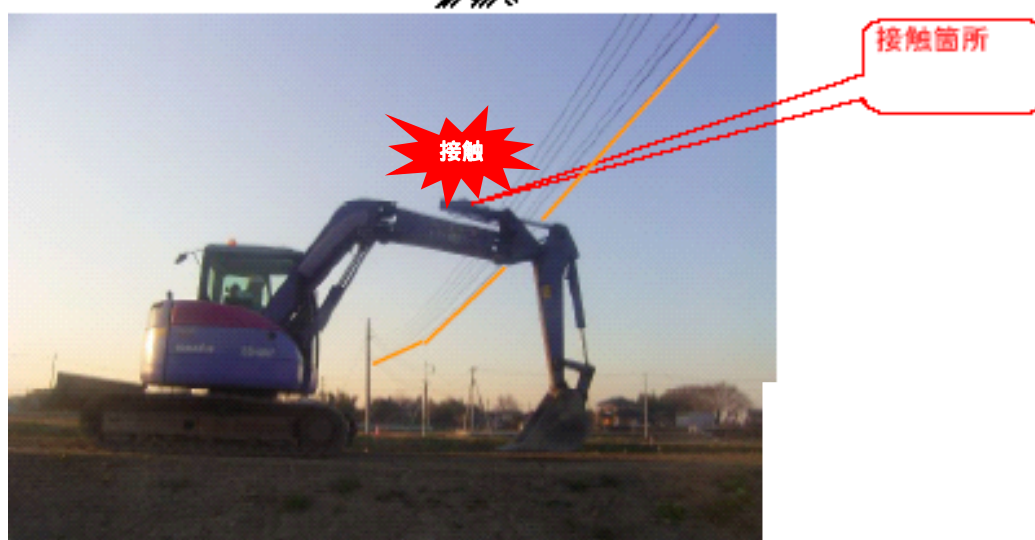
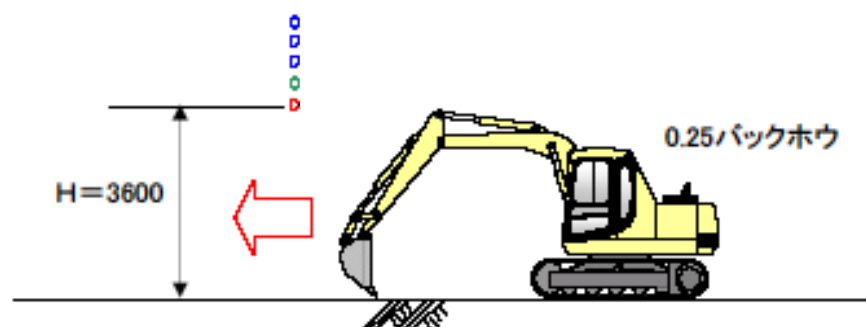
- ・資材搬入経路について、事前に確認が行われていない。
(別途工事車両用の出入口あり)

【事故防止のポイント】

- ・資材運搬ルートについて事前に確認する。 など

発生日時	平成 21 年 12 月 23 日 (水) 11 時 05 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	架空線(ワイヤーケーブル)切断	
事故概要	作業終了後、バックホウのアームを上げたまま走行し、上空の架空線に接触、切断させたもの。				

事故発生状況



・バックホウを用いて、保安柵の撤去・整地作業を行っていた。
 ・作業が終わり次の場所に移るため、バックホウを反転し、移動しようとしたところ、アームが上空の架空線 (NTT線) に接触し、ワイヤーケーブル (本線を保護するための線) を切断した。

【事故発生原因】

・バックホウのアームを上げたまま移動したこと。
 ・架空線に対する注意喚起 (三角旗等) を行っていたが、工期末が近づいていたため撤去してしまっていたこと。

【事故防止のポイント】

・バックホウ移動時には「アームを下げ
 て移動」の周知徹底
 ・誘導員の適切な配置
 ・目印表示の設置 など

発生日時	平成 21 年 12 月 24 日 (火) 11 時 30 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	NTT架空線切断(個人引き込み線)	
事故概要	バックホウにて整地作業中、上空の架空線(NTT)にアームが接触し、切断したもの。				

事故発生状況



写真



・掘削箇所の整地作業を行っていたところ、上空の架空線に気が付かず接触させてしまった。

・現場内の主たるところには架空線に対する注意喚起(三角旗・のぼり旗)を行っていたが、当箇所は行わなかった。

・整地作業中、誘導員はおらず、1人で作業していた。

写真



【事故発生原因】

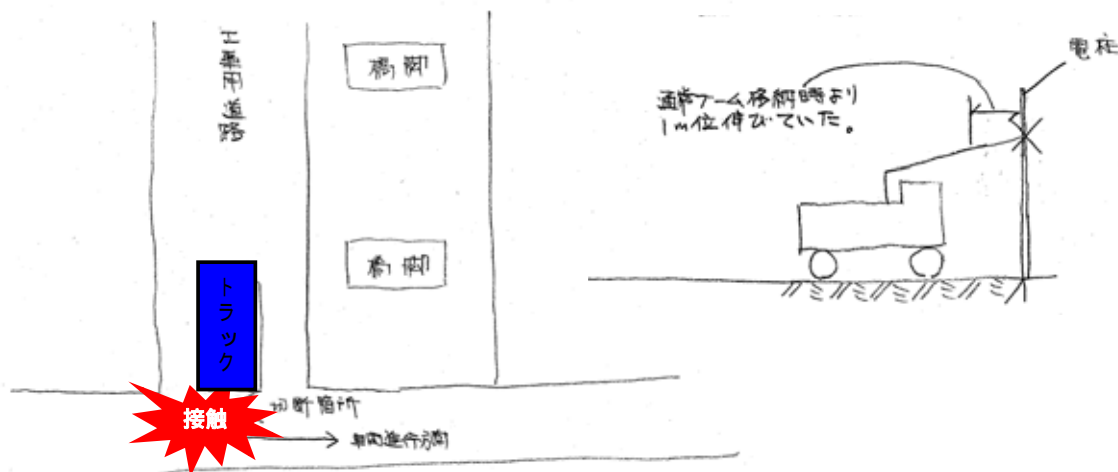
・架空線近接箇所で作業する際の安全対策が行われて無かったこと。

【事故防止のポイント】

・架空線近接箇所に誘導員を配置
・作業前の周囲の安全確認 など

発生日時	平成 21 年 12 月 25 日 (金) 14 時 45 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 維持修繕工事		
被災の状況	性別	年齢	職種
	-	-	-
被災の程度	架空線切断 (NTT 電話回線 1 本、NTT 光ケーブル 1 本)		
事故概要	クレーン付トラックを現場外に搬出する際、ブームを完全にしまわずに走行したため、現場出入り口の架空線に接触し、切断したものを。		

事故発生状況



使用したクレーン付トラック

・トラッククレーンにて現場内に現場休憩所 (ユニットハウス) 及び仮設トイレを搬入するところだった。
 ・現場休憩所を搬入し、仮設トイレを取りに現場を出る際、クレーンのブームを完全にしまわずに走行してしまったため、上空の架空線に接触し切断した。

電話回線影響範囲 10 程度
光ケーブル影響範囲 50 件程度

【事故発生原因】

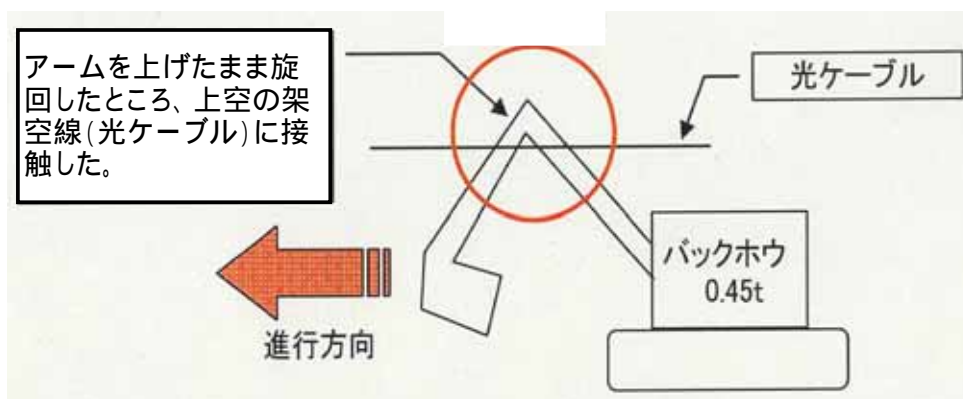
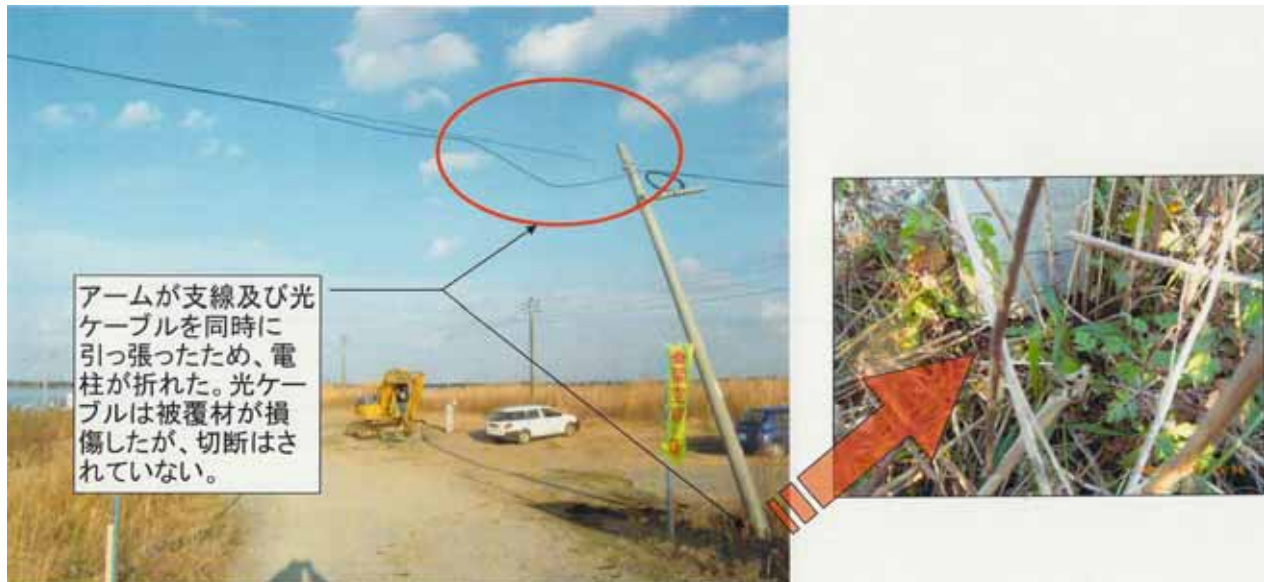
- ・架空線近接箇所で作業する際の安全対策が行われて無かったこと。
- ・クレーンのアームをあげたまま走行したこと。

【事故防止のポイント】

- ・「クレーン付トラックの走行時は、アームを下げる」の周知徹底
- ・走行前の車両点検 など

発生日時	平成 22 年 1 月 18 日 (月) 14 時 50 分			天候	晴
工事情報	河川系事務所 一般土木				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	架空線(河川管理用ケーブル)切断	
事故概要	バックホウを移動させるために旋回したところ、アームが架空線(河川管理用光ケーブル)に接触し、ケーブル柱が折損したものの。				

事故発生状況



- ・当日は、土砂運搬を行うために、現場の道路側溝を敷鉄板で養生するため、バックホウ(0.45m³)を用いて、碎石の敷均しをしていた。
- ・作業が完了し、作業ヤードに帰ろうとした際、**誤ってアームを上げたまま旋回**してしまい、上空の架空線に接触させてしまった。

【事故発生原因】

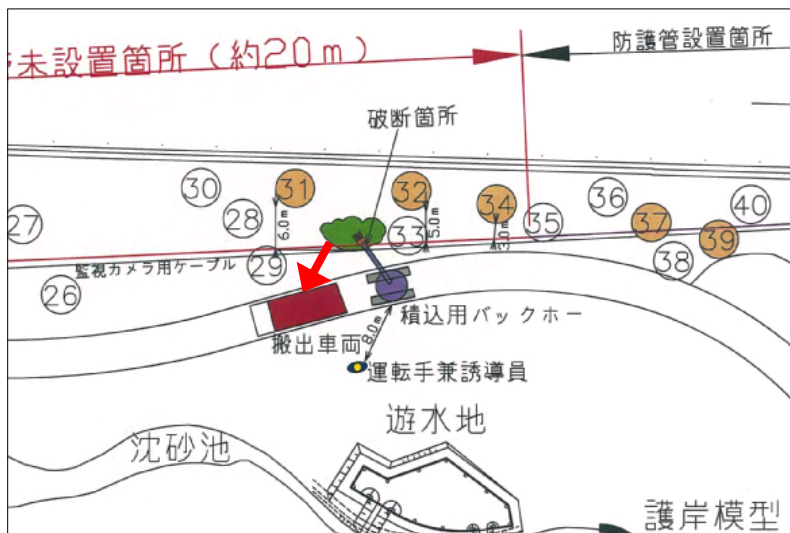
- ・旋回時の周囲安全確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

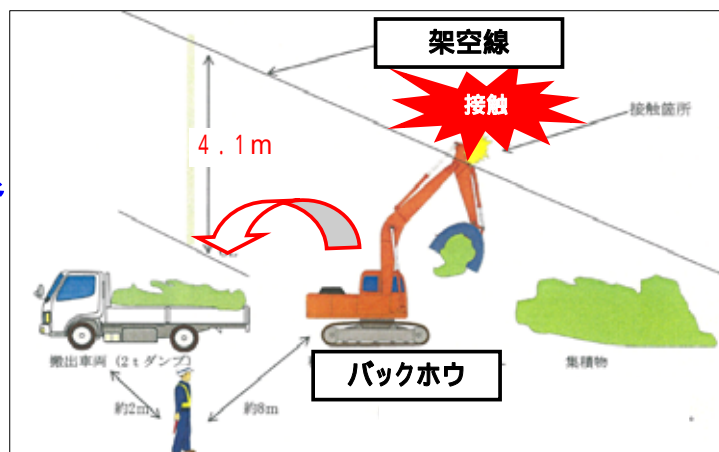
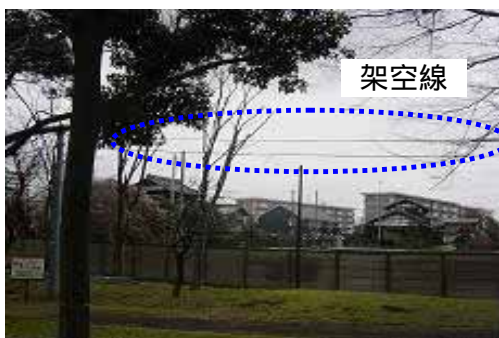
- ・「旋回時の周囲安全確認」の周知・徹底。
- ・誘導員の適切な配置 など

発生日時	平成 22 年 3 月 4 日 (木) 11 時 15 分			天候	曇
工事情報	その他事務所 造園工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	架空線(事務所構内監視用カメラケーブル)切断	
事故概要	剪定により発生した枝をバックホウにてトラックに積み込んでいたところ、上空の架空線(構内監視用カメラケーブル)にバックホウのアームが接触し、切断したもの。				

事故発生状況



損傷箇所



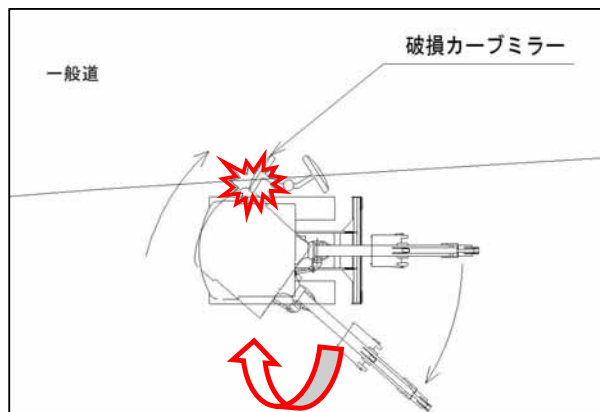
集積した枝葉をバックホウ(0.2m³級)にてダンプトラックに積み込みしていたところ、誤ってアームを上げてしまい、上空の架空線(4.1m)に接触して損傷させたもの。

- 【事故発生原因】**
- ・オペレーターと誘導員の連携不足
 - ・架空線近接時の作業方法不徹底

- 【事故防止のポイント】**
- ・専任の重機誘導員の配置
 - ・合図等誘導方法の確認
 - ・架空線近接箇所における作業方法の周知徹底

発生日時	平成 22 年 3 月 12 日 (金) 15 時 00 分			天候	晴
工事情報	河川系事務所 電気設備工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	カーブミラー損傷	
事故概要	作業完了後バックホウを移動させるため旋回したところ、キャビン天井部分がカーブミラーと接触し、損傷させたもの。				

事故発生状況



作業が完了し、使用したバックホウ (0.066m³) を運搬車両へ積み込むため、移動しようと旋回したところ、キャビン天井部分がカーブミラーと接触して、鏡面を損傷。

【事故発生原因】

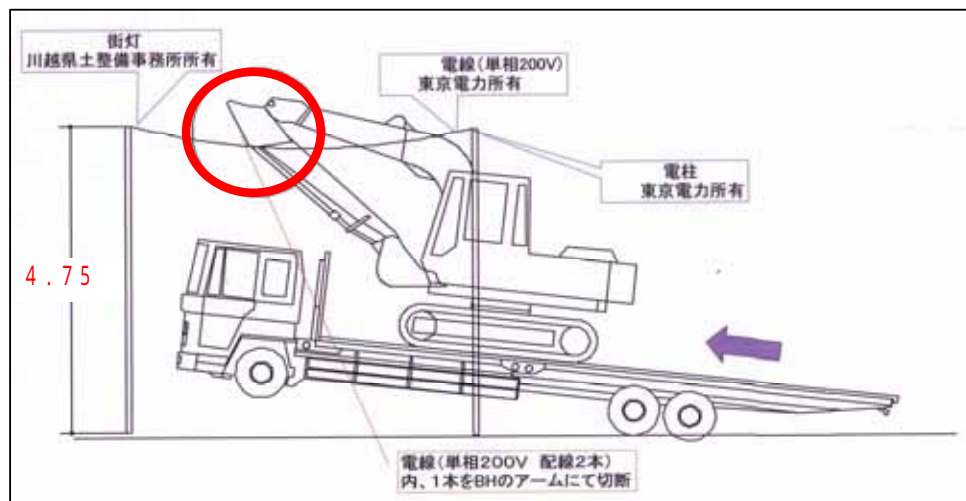
- ・旋回時の周囲安全確認不足。
- ・誘導無しで重機を移動

【事故防止のポイント】

- ・障害物周辺で重機を稼働する際は、誘導員を配置し、合図に従う など

発生日時	平成 22 年 3 月 24 日 (水) 14 時 10 分	天候	雨
工事情報	河川系事務所 一般土木工事		
被災の状況	性別	年齢	職種
	-	-	-
事故概要	被災の程度		
	架空線(道路照明灯電線)切断		
事故概要	バックホウを回送車に積み込む際、上空の架空線にアームが接触し切断したものを。		

事故発生状況



・現場で使用したバックホウ(0.4m³)を回送するため、現場沿いの県道に運搬用トレーラを停車させて積み込み作業を実施。
 ・バックホウを運搬用トレーラ荷台に載せる際に、上空の架空線に気付かず積み込み作業を実施したところ、アームが架空線に接触したものを。

【事故発生原因】

- ・積み込み作業を障害物(架空線)の下で実施したこと。
- ・障害物有無等の周囲安全確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

- ・誘導員、監視員の配置
- ・周囲の状況を確認したうえで、作業場所を決定 など